

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	家 庭	科 目	家庭総合	学 年	3	類 型	商業科
単位数	2	教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来		出版社	実教出版	
副教材	・家庭科ノート ・調理実習ノート基礎編						

学習の目標	1. 人の一生を生涯発達の視点で総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解します。 2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけます。
授業の概要	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。また、学習内容に応じて一斉指導、個別指導、グループ指導を行い、視聴覚教材も多く活用します。

	学 期	単 元	教 材	学 習 内 容	評価の観点			
					①	②	③	④
年 間 学 習 計 画	1 学 期	2編1章 食生活をつくる	1 人と食物のかかわり 2 私たちの食生活 3 栄養と食品のかかわり 5 食事の計画と調理	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考える。 ・食生活の歴史や食文化から、食事の意義について学習する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を習得する。 ・栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)ができるようにする。 ・調理に関しての基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。	○		◎	
	2 学 期	2編1章 食生活をつくる	4 食品の選び方と安全 6 これからの食生活	・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について学び、消費者として、家庭生活を営む者として知っておくべき知識を身につける。 ・食品の自給率や食に関する環境について考察し、環境を考えた調理(食品ロス・エコクッキング)について考え、実習する。			◎	○
		3編1章 消費行動を考える	4 持続可能な社会環境	・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できるようにする。	○	◎		
	3 学 期	1編1章 自分らしい生き方と家族	3 共に生きる家族	・さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	○	◎		

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている

評価の観点及び評価規準			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
・人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会との関わり、衣食住について関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身につけようとする。	・自分や家族・家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。	・自分・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を身につけることができる。	・自分や家族・家庭、地域社会の役割を理解し、それらの充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。衣食住、消費・環境など、家庭生活を営む上で必要な知識を身につけている。
評価の方法			
(考查点)①学習項目について、理解できているかを中心に評価します。 (平常点)②授業中における関心・意欲・態度・思考・判断・表現・技術・知識・理解について総合的に評価します。			